

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日  
東

上場会社名 株式会社和井田製作所 上場取引所  
 コード番号 6158 URL <http://www.waida.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 和井田 光生 (TEL) 0577-32-0390  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名和 芳治  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,382	26.6	129	—	140	—	106	—
26年3月期第2四半期	1,882	△29.0	△185	—	△187	—	△152	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 149百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △85百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	16.63	—
26年3月期第2四半期	△23.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,023	4,829	59.6
26年3月期	7,439	4,657	62.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,781百万円 26年3月期 4,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,441	15.1	356	741.3	373	882.6	231	389.9	36.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 和井田友嘉精機股份 有限公司、除外 1社(社名) —

詳細は、添付資料4ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	7,028,000株	26年3月期	7,028,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	599,294株	26年3月期	599,294株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	6,428,706株	26年3月期2Q	6,628,706株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における工作機械業界は、内需・外需ともに回復基調で推移しており、9月の受注総額は1,355.5億円と、13ヵ月連続の1,000億円超となりました。内需は税制優遇や補助金等の各種政策の効果により、9月の内需総額はリーマンショック以降最高額の491.4億円となりました。外需は、北米や欧州において底堅く推移し、また、アジアでのスポット受注が継続していることから、外需全体としては高水準の受注状況となっております。なお、今後の見通しにつきましても、中国の先行き不透明感はいまだあるものの、内需・外需ともに回復基調で推移することが見込まれています。

このような経済環境下、当社グループは持分法適用関連会社であった和井田友嘉精機股份有限公司（台湾）を当第2四半期連結会計期間において連結子会社化し、海外生産体制のさらなる強化と、主に中国における新たな販路拡大に努めてまいりました。また、丸紅株式会社との販売代理店契約やHAAS社（ドイツ）との販売提携契約を継続させ、北中米や欧州地域での販売体制の強化に引き続き取り組んでおります。

製品開発においてはCNC外周研削盤の新製品である「APX-101」を市場投入し、お客様の幅広いニーズに対応できるグローバルベシック機として受注活動を行っております。また、JIMTOF出展及び市場投入に向け、全自動プロファイル研削盤「iPG-X」や全自動溝入れ工具研削盤「GIG-202」などの新製品の開発に継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は前年同期比24.6%増の水準となりました。売上高は2,382百万円（前年同期比26.6%増）となり、計画を若干下回りましたが、利益については、原価率の改善や固定費の圧縮の効果等により計画を上回る結果となり、営業利益は129百万円（前年同期は185百万円の営業損失）、経常利益は140百万円（前年同期は187百万円の経常損失）、四半期純利益は106百万円（前年同期は152百万円の四半期純損失）となりました。

品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

#### （金型関連研削盤）

主力市場である中国の景気が停滞しており、また、スポット受注の効果が当社製品の需要先である市場に及んでいないため、結果として売上高は595百万円（前年同期比28.0%減）となりました。金型関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の25.0%を占めております。

#### （切削工具関連研削盤）

好調な切削工具関連業界の影響を受け、大手切削工具メーカー等からの受注が堅調に推移し、売上高は1,222百万円（前年同期比99.9%増）となりました。切削工具関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の51.3%を占めております。

#### （その他の機械）

NCプロッター（作図機）に加え、HAAS社製品が売上高増加に寄与し、売上高は170百万円（前年同期比104.9%増）となりました。その他の機械の売上高は、当社グループの総売上高の7.2%を占めております。

#### （アフターサービス）

アフターサービス（有償修理）及びメンテナンス部品については、売上高は393百万円（前年同期比9.2%増）となりました。アフターサービスの売上高は、当社グループの総売上高の16.5%を占めております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ584百万円増加し、8,023百万円となりました。これは、主として現金及び預金が101百万円、受取手形及び売掛金が163百万円、仕掛品が399百万円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ412百万円増加し、3,194百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が365百万円、1年内返済予定の長期借入金が341百万円増加し、短期借入金155百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ171百万円増加し、4,829百万円となりました。これは、主として利益剰余金が81百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、1,062百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、79百万円となりました。(前年同期は45百万円の支出)

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益149百万円、減価償却費138百万円、仕入債務の増加額252百万円等であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額119百万円、たな卸資産の増加額425百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、13百万円となりました。(前年同期は74百万円の支出)

収入の内訳は連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入70百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出54百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、95百万円となりました。(前年同期は190百万円の支出)

収入の内訳は、長期借入れによる収入465百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済による支出155百万円、長期借入金の返済による支出154百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月4日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、従来持分法適用関連会社であった和井田友嘉精機股份有限公司の株式を追加取得し、連結子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。また、その資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当する額となることから、和井田友嘉精機股份有限公司は当社の特定子会社に該当することになりました。

なお、平成26年9月30日をみなし取得日としているため、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,475,020	1,576,811
受取手形及び売掛金	1,409,699	1,573,584
商品及び製品	90,064	90,064
仕掛品	898,939	1,298,613
原材料及び貯蔵品	458,305	501,539
未収還付法人税等	-	3,151
繰延税金資産	82,346	70,033
その他	104,206	56,306
貸倒引当金	△126	△270
流動資産合計	4,518,456	5,169,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	864,598	823,855
機械装置及び運搬具(純額)	373,154	369,436
土地	880,252	880,252
その他(純額)	266,498	274,554
有形固定資産合計	2,384,504	2,348,099
無形固定資産	36,790	33,164
投資その他の資産		
投資有価証券	275,185	325,599
関係会社株式	39,095	-
繰延税金資産	50,838	16,611
その他	135,338	131,409
貸倒引当金	△955	△923
投資その他の資産合計	499,502	472,696
固定資産合計	2,920,796	2,853,959
資産合計	7,439,253	8,023,795

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	324,136	689,279
短期借入金	255,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	271,988	612,988
環境対策引当金	2,422	-
未払法人税等	1,270	10,288
その他	289,853	246,033
流動負債合計	1,144,670	1,658,589
固定負債		
長期借入金	1,191,699	1,161,037
長期末払金	134,410	49,030
退職給付に係る負債	137,897	144,950
その他	172,945	180,638
固定負債合計	1,636,952	1,535,655
負債合計	2,781,622	3,194,245
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	3,263,032	3,344,206
自己株式	△406,664	△406,664
株主資本合計	4,580,912	4,662,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,139	107,366
為替換算調整勘定	9,578	12,338
その他の包括利益累計額合計	76,718	119,704
少数株主持分	-	47,759
純資産合計	4,657,630	4,829,550
負債純資産合計	7,439,253	8,023,795

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,882,236	2,382,689
売上原価	1,403,766	1,528,382
売上総利益	478,470	854,307
販売費及び一般管理費	663,549	724,725
営業利益又は営業損失(△)	△185,079	129,581
営業外収益		
受取利息	68	121
受取配当金	5,402	5,153
受取賃貸料	7,737	11,992
為替差益	325	-
持分法による投資利益	-	2,470
その他	5,737	2,055
営業外収益合計	19,271	21,793
営業外費用		
支払利息	13,257	9,484
持分法による投資損失	4,512	-
為替差損	-	304
その他	3,687	1,020
営業外費用合計	21,457	10,809
経常利益又は経常損失(△)	△187,265	140,565
特別利益		
補助金収入	-	3,530
段階取得に係る差益	-	5,648
特別利益合計	-	9,178
特別損失		
固定資産除却損	2,248	38
減損損失	1,158	-
特別損失合計	3,406	38
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△190,672	149,705
法人税、住民税及び事業税	2,616	2,870
法人税等調整額	△40,463	39,944
法人税等合計	△37,847	42,815
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△152,824	106,889
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△152,824	106,889

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△152,824	106,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,796	40,226
為替換算調整勘定	2,499	-
持分法適用会社に対する持分相当額	2,230	2,759
その他の包括利益合計	67,526	42,985
四半期包括利益	△85,298	149,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,298	149,875
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△190,672	149,705
減価償却費	142,124	138,307
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,526	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	7,052
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△456	111
環境対策引当金の増減額(△は減少)	-	△2,422
受取利息及び受取配当金	△5,470	△5,274
支払利息	13,257	9,484
為替差損益(△は益)	-	583
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△5,648
持分法による投資損益(△は益)	4,512	△2,470
減損損失	1,158	-
固定資産除却損	2,248	38
のれん償却額	-	5,026
売上債権の増減額(△は増加)	△104,759	△119,456
たな卸資産の増減額(△は増加)	△211,906	△425,814
仕入債務の増減額(△は減少)	208,036	252,582
長期未払金の増減額(△は減少)	△4,350	△85,380
その他の資産の増減額(△は増加)	△29,522	23,101
その他の負債の増減額(△は減少)	△18,394	△16,140
小計	△182,668	△76,611
利息及び配当金の受取額	5,469	5,219
利息の支払額	△13,490	△9,612
法人税等の支払額	-	△4,920
法人税等の還付額	145,531	6,646
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△45,157</b>	<b>△79,278</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,600	△600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	70,164
出資金の売却による収入	1,055	-
有形固定資産の取得による支出	△31,514	△54,460
無形固定資産の取得による支出	△3,740	△1,538
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△74,800</b>	<b>13,565</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	-
短期借入金の返済による支出	△280,000	△155,000
長期借入れによる収入	400,000	465,000
長期借入金の返済による支出	△382,401	△154,662
リース債務の返済による支出	△28,436	△34,136
配当金の支払額	-	△25,714
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△190,837</b>	<b>95,487</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,499	△583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△308,296	29,190
現金及び現金同等物の期首残高	1,568,149	1,033,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,259,852	1,062,611

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。